



7月 ほげんだより

令和5年7月1日

大阪市立逢坂保育園

連日の蒸し暑さにいつも元気な子ども達も、発熱や咳・鼻水症状が出ていることも少なくありません。

食事、睡眠、水分補給など体調管理を心がけ、この夏も元気に過ごしていきたいと思います。

身体計測

3日(月) ひよこ・うさぎ組

6日(木) ぱんだ組

気になる感染症

現在、コロナウイルス・ヘルパンギーナ・RSウイルスが流行しています。

夏は手足口病と咽頭結膜熱(プール病)も乳幼児で流行する感染症です。どれもウイルス感染による病気です。感染力も強いので皮膚の清潔、食事、水分補給、睡眠に留意して免疫力を高めていきましょう。

園では職員のマスク着用や手洗い、子ども達が手に触れる物の消毒などできる限りの対策を実施しています。

もし気になる症状があれば必ず受診して、医師の診断を受けてください。受診する科は小児科です。

子どもは体も機能も発達途上にある未完成な状態にあります。症状は似通っていても病気も治療法も違うことは多々あります。小児科専門医の先生にご相談されることをお勧めします。



プール熱



ヘルパンギーナ



手足口病

蚊にさされたら

蚊に刺されると強い痒みと腫れや水ぶくれ、さらに掻きむしって中の液体が出ると感染を起こすとびひになることもあります。大人より子どもは強い反応が起こり、個人差もあります。

刺された時は放っておかず、出来るだけ早くステロイド外用薬等を塗り痒みや炎症をおさえます。1日2~3回、数日間塗りますが、ステロイドホルモンは短期間の使用であれば心配ありません。



汗をかいたら

暑い夏、体の体温を保つために汗が沢山出ます。拭いても拭いてもさらに汗が出て、体の水分が減ってしまい、熱中症になりやすくなります。

そこで乾いたタオルの代わりに、水で濡らしたタオルで抑えるように汗を取ると、皮膚の表面の水分が気化して体温は下がります。

また塩分や尿素などの汗の成分もふき取ってさっぱりと気持ちがよくなります。

